

\*\*\*\*\*  
今日 の 力  
\*\*\*\*\*

2025年2月17日 ～ 2月23日

翻訳 ハイステン 悦子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

2月17日（月）

主 の お 客 様 に お 仕 え す る

聖書朗読 ヨハネの福音書 13：1～20

人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、  
多くの人のための、贖いの代価として、自分のいのちを与えるためなのです。

マルコ 10：45

今日の聖書箇所で、ヨハネはイエス様が弟子たちと共にとられた“最後の晚餐”の時に語ったことを書いています。それは、食事の内容ではなく、食事を摂るに当たっての態度です。つまり、イエス様の謙虚な行動についてお話になりました。弟子の足をお洗いになったということです。それは、一見何とつまらない、食欲をそそらない話に思えます。しかし、それは私達が互いを思いやりをもって頂く“主の晚餐”のあるべき姿をはっきりと示しているのではないのでしょうか。

ヨハネはまた、この同じ場面で、イエス様が弟子たちに自分に倣うようにと教えられたと言っています。イエス様は、単に御自身の物真似をするように言ったのではありません。イエス様は、弟子たちに御自身がされた通りの行いを周りの方々にするようにと言われました。それは、自分の立場や利益よりも正しい行いを優先し、他の人に仕えるということです。もし、弟子たちのイエス様との関係が本物の信仰に基づくものであるとしたら、その弟子たちは主に似て来るのです。

さらに、主に倣う上で一番大切なのは、私達が周りの方々にお仕えするということです。イエス様の食卓に招かれているということは、最も素晴らしい特権です。そして、その主イエス様のお客様たちに仕えるのが真の弟子なのです。

讃美歌 461 主われを愛す

祈 り 私を仕える者にしてください、主よ、私をあなたのようにしてください。

イエス様の御名前によって。アーメン。



アイダホ州 ボイジ / マイク・サンダース

2月18日（火）

イエス様の大胆さを信じられますか

聖書朗読 ヨハネの福音書 14：5～18

主をおのれの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。詩篇 37：4

主のお約束の中には、私達の信じる能力を超えているものもあるように思えます。イエス様がこれらの言葉を弟子たちに語られた時、沢山の人はまだ信じることができずにいました。ここで弟子たちはやっとイエス様が彼らの元を去って行かれることを受け入れたのかもしれませんが。今日、主を信じる人々が減少しつつあるなかで、想像できるあらゆる社会問題、犯罪、暴力、不道德、絶望等は増える一方です。そして、最初の弟子たちと同じように、私達一人一人もまた、自分自身の霊的な問題に直面しています。

当時の世の中でも、今でも、イエス様のメッセージは同じです。『あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。』（14：1）イエス様は、いつの世にあっても、弟子たちがそのような信仰を持つことを望んでおられるのです。

問題だらけの世の中を変えられたらいいですが、私達には限界があります。主の約束を信じて生きることだけが、主が戻られるまで、この問題だらけの世の中でうまく耐え抜く唯一の方法なのです。私達が希望と信仰をもって生きているのを他の人達が見る時、私達は彼らと主の約束を分かち合うことができます。

讃美歌 381 ちからのかぎりに

祈り 親愛なる主よ。私達の信仰を増してください。私達がイエス様から目を離さず、心の耳が主のメッセージを聞くことができるよう助けてください。

イエスの御名により。アーメン。

テキサス州 マーシャル / キース S・ホッジズ

2月19日（水）

人生の激流

聖書朗読 ヨハネの福音書 20：19～23

その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであつた。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあつたが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。「平安があなたがたにあるように。」 ヨハネ 20：19

私の子供達がまた引越しをした時、それはわくわくする時でもありましたが、それと同時に、雑然として不安定な時でもありました。引越しという一大事の中で、計画通りに事は進みません。天井まで積み上げられた箱を見ながら、私達は、いつになったら普通の生活に戻るんだろうと考えました。

イエス様の弟子達は、イエス様の死によって混乱状態になりました。この場面で、彼らは一つの部屋に集まり、戸を閉めていました。彼らはイエス様を失っただけではありませんでした。ユダヤ人たちは捕らえようと弟子たちをまだ探していました。そのような時に、イエス様は彼らに現れました。イエス様の最初の言葉は『平安があなたがたにあるように。』でした。イエス様は、弟子たちがその言葉を必要としていることを知っておられました。イエス様は、彼らに大丈夫だと伝えるためにいらしたのです。イエス様は、平安を彼らの元にもたらししました。

引越しの時の私の子供達のように、又はあなたが変化や苦悩の中にある時、イエス様は、イエス様自身が平和そのものであることを示しています。イエス様を知る事が全てです。人生における問題はなくならないかもしれませんが、人のすべての考えにまさる神の平安はいつも私達と共にあります。

讃美歌 295 やすしや 罪の世にも

祈り お父様。あなたの平安に感謝します。騒がしい中にあっても、私達にはあなたが平安を語られるのが聞こえます。イエス様の御名により。アーメン。



テキサス州 ラボック / シェリー・リームズ

2月20日（木）

## ペテロへの希望

聖書朗読 ヨハネの福音書 21：1～17

あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあつてその永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみのあとで完全にし、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。

ペテロ I 5：10

それはペテロにとって、良い晩ではありませんでした。最後の晩餐の時に、イエス様がペテロの足を洗おうとされた時、ペテロは洗わないで下さいと言いました。そして、イエス様はもしご自分がペテロの足を洗わなければペテロとは何の関係もないと言われました。後にゲツセマネの園でペテロは、イエス様に目を覚まして祈っているように言われたにもかかわらず、何度も眠りに落ちました。

兵士達がイエス様を捕まえに来た時に、ペテロはイエス様を守るために、男を襲い怪我をさせ、イエス様に非難されました。それから何時間かの後、彼は一度だけでなく三度もイエス様を否定しました。そして、イエス様を見上げると、傷つき落胆されたイエス様と目が合いました。

ペテロを指導者として再び信頼することはできるでしょうか。私達はペテロを弟子たちの中で脇に押しやりました。しかし、失敗だらけのペテロをイエス様は最前線に戻し、主の群れを導かせるように選ばれました。後に最初の福音説教をしたのはペテロであり（使徒 2：14～41）、ペテロは新しい教会をリードしました。

あなたはイエス様との歩みにおいて、つまずき倒れてしまったたことがありますか。落胆してはいけません。神はまだ、神の御国にあなたのための大切な場所を用意しておられます。あなたがイエス様から離れているならば、戻ってきてください。そうすれば、神はあなたを高め、回復させ、働く力を与えてくださいます。

讃美歌 321 わが主イエスよ

祈り 親愛なる主よ。二度目のチャンスを与えてくださってありがとうございます。私達が倒れる時起こし、あなたの御国で仕えるために回復させてください。イエス様の御名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ジャン・ノックス

2月21日（金）

## 霊的鍛錬

聖書朗読 使徒の働き 2：41～47

そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていました。使徒 2：42

ペンテコステの日の興奮の後で、初代教会は落ち着きを取り戻し、日常生活の日々のわざをなすようになりました。ルカはこの日々を、『堅く守り』、『心をつにしてい』と表現しています。（2：42，46）これは、使徒の働きの中で6回使われている、ルカのお気に入りの言葉です。それは、常に熱心で粘り強く、または、ある学者が示唆す

るように“持続して頑<sup>かたく</sup>なに”という意味を持つ強い言葉です。『彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしてい』ました。

私達もまた、そのような霊的な高まりを、黙想中や研修会・特別礼拝などで経験するかもしれません。でも、その後、私達は主にある日常生活に戻っていきます。クリスチャンとして、主がお命じになる日々の生活を大切にすることは、キリスト教単なる宗教ではなく、ライフスタイルであるとはっきり示しています。それは、私達が責任を持って日々の生活を過ごし、習慣化していくことに繋がります。それは、私達が気持ちや感情に頼らず、霊的な高ぶりに行動を左右されないということです。その代わりに、私達はやる気がしないとを感じる時でさえも、聖霊の導きにより、すべきことを心を込めてしていくのです。

讃美歌 II 12 主の教え宣べ伝え

祈り 天のお父様。あなたに、あなたの御言葉に、交わりに、そして、祈りに共に専念する信仰のコミュニティーを与えてくださってありがとうございます。イエス様の御名によって。アーメン。



テネシー州 サマービル / デイブ・ブランド

2月22日（土）

百人隊長たちの信仰

聖書朗読 使徒の働き 10：1～8

翌日、シドンに入港した。ユリアスはパウロを親切に取り扱い、友人たちの所へ行って、もてなしを受けることを許した。使徒 27：3

聖書の百人隊長の描写はとても興味深いものです。彼らはローマ軍の職業軍人で、百人ほどの兵隊を指揮して、通常一つの場所に長く駐屯しました。これらの百人隊長達には権力があり、意地悪くも冷酷であることもできました。しかし、聖書には、百人隊長たちとの肯定的な関係が描かれています。

マタイ 8：5～13の中で、イエス様は謙遜で立派な百人隊長の信仰に驚かれて、こう言われました。『わたしはイスラエルのうちのだれにも、このような信仰を見たことがありません。』マルコ 15：39に出てくる百人隊長は、『この方はまことに神の子であった。』という偉大な告白をしました。使徒 22：25～28で、百人隊長は、パウロがむち打たれることから救いました。使徒 23：16～18では、百人隊長は、パウロの指示に従って、パウロを待ち伏せて襲う計画を失敗させました。

今日の聖書箇所に出てくる百人隊長コルネリオは、悔い改めて主イエス・キリストを信じた最初の異邦人でした。そして、彼だけではなく家族全員が信じたのです。

これらの百人隊長たちはユニークで誠実でした。百人隊長たちが持っていたような信仰を持てるのでしょうか。はい、私達にもできます。それは手の届くところにあります。キリストを選びましょう！

讃美歌 268 まごころもて 仰ぎまつらん

祈り 主であるお父様。あなたの聖なる御言葉を信頼する力を与えてください。あなたの真実を信じ求めた百人隊長のような信仰を持てるように助けてください。イエス様を通して祈ります。アーメン。

カンザス州 キングマン / チャールズ・キース・キング

2月23日（日）

信仰の力

聖書朗読 ローマ人への手紙 5：1～8

なぜなら、福音のうちには神の義が啓示されていて、その義は、信仰に始まり信仰に進ませるからです。「義人は信仰によって生きる」と書いてあるとおりです。ローマ 1：17

部分日食を見ながら、私は神の創造物に対する畏敬の念でいっぱいになりました。太陽が欠けていき完全に三日月型になるのを期待して待つ間はわくわくしましたが、雲が日食を覆ってしまったのは残念でした。でも雲が分かれて、日食メガネを通して、また太陽が現れた時は、まさに感嘆のひと時でした。

影と光の動きを伴ったこの美しい出来事は、イエス様の死と復活の際に明らかにされた、より偉大な力を思い起こさせました。

私達の信仰は、イエス・キリストにある埋葬と復活という霊的な行いを通して、主にある計り知れない力と私達をつなぐのです。新たに生まれる時、私達は象徴的にイエス様の死、埋葬、復活にあずかります。この私たちのイエス様とのつながりは、ただの宗教的な概念ではありません。それは、私達が何者であるか、また何ができるかを定義しなおす驚くべき力なのです。

そのような偉大な神の力に繋がっていれば、罪によって支配されることはありません。私達はイエス・キリストとの繋がりを通して、罪の束縛から解放されたのです。信仰の力は、私達の弱さを克服し、イエス様の犠牲によって私たちに与えられた自由な生き方をすることを助けて下さいます。

聖歌 514 ひかりの高地に

祈り 親愛なる天のお父様。この世に御子イエス様を送ってくださり、その死と復活によって、死に打ち勝ってくださいまして、ありがとうございます。信仰によって、見えるものによってではなく信仰によって生きることによって、この力につながれるように助けてください。イエス様の御名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル / ジョシュ・バーネット